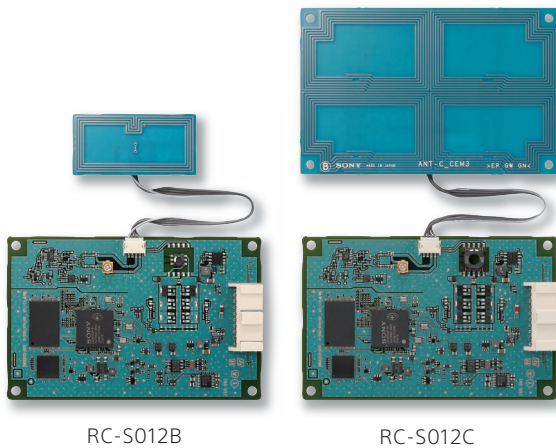


# RC-S012B RC-S012C



RC-S012B

RC-S012C

AES暗号方式およびDES暗号方式に対応したFeliCa™カード用セキュリティ機能付きリーダーモジュールです。DES暗号方式を使用した既存システムとの互換性を保ちつつ、AES暗号方式を使用したFeliCaカードへの対応が可能です。

AES  
対応

システム  
互換性

高セキュリティ

### 概要

本モジュールはコントロール基板とアンテナ、両者を接続するアンテナケーブルで接続され、上位機器（コントローラー）からの命令を受けてカードやモバイルFeliCa ICチップ搭載携帯電話との通信を行います。

### 特長

#### 新世代標準暗号化方式AESに対応

カードとリーダー／ライター端末間の暗号通信において、従来のDES (Data Encryption Standard) 暗号方式に加え、AES (Advanced Encryption Standard) 暗号方式を備えることで、セキュリティのさらなる向上を実現しました。また、暗号ロジックをコモンライテリア (ISO/IEC 15408) EAL4+相当のセキュリティICチップに搭載し、より高度なセキュリティを確保しました。

#### 現行製品との互換性を確保

RC-S462B、RC-S462Cとの互換性（外形寸法／電気特性／コマンド）を有しており<sup>1)</sup>、AESカード対応システムへの移行が容易です。

<sup>1)</sup> Ad-hoc通信機能を除く

#### 環境に配慮した設計

RoHS指令（欧州環境規制）に対応し、プリント配線基板にハロゲン系難燃剤を使用していません。また、はんだ付けに無鉛はんだを使用し、環境に配慮した設計となっています。

# 製品仕様

		RC-S012B	RC-S012C
国内電波法区分		型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備	
通信距離 <sup>1)</sup>		約30 mm (RC-S100使用時)	約100 mm (RC-S100使用時)
通信方式		ISO/IEC 18092 (212 kbps / 424 kbps Passive communication mode) に準拠	
通信速度 (対カード・デバイス) <sup>2)</sup>		212 kbps、424 kbps <sup>3)</sup>	
搬送波周波数		13.56 MHz	
使用環境 (結露、氷結のないこと) <sup>4)</sup>		-10 ℃～+40 ℃ / 20%～90%RH、40 ℃超～60 ℃ / 50%RH以下	
保存環境 (結露、氷結のないこと)		-30 ℃～+70 ℃ / 60%RH以下	
外部インターフェース		RS-232CまたはRS-485から選択可能 <sup>5)</sup> ヒロセ電機社製DF1E-10P-2.5DS (05) (ライトアングル: 錫メッキ)	
通信速度 (対コントローラー)		7.2 kbps～1228.8 kbps (RS-232Cの場合は115.2 kbpsまで)	
質量		約45 g	約125 g
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	コントロール基板	約104 mm × 10 mm × 67 mm	
	アンテナ	約50 mm × 6 mm × 25 mm	約104 mm × 6 mm × 67 mm
アンテナケーブル長		約125 mm	
電源電圧、消費電流 (通常動作時)		DC12 V、105 mA	DC12 V、315 mA

1) 通信距離は使用環境により異なります。周囲の電波や金属による影響がない理想的な環境での値です。

2) モバイルFeliCa ICチップ搭載携帯電話

3) ご使用のカードやデバイスが424 kbps通信に対応している必要があります。

4) 機能保証温度。詳細は製品仕様書をご覧ください。

5) 同時には利用できません。

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。●ソニー、SONYおよびFeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。●FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。●その他、本カタログに記載されているシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。

## ソニー株式会社

エンタープライズソリューション事業部

セキュアテクノロジー事業部門 セールス&マーケティング部

東京都品川区大崎2-10-1 ソニーシティ大崎 〒141-8610

FeliCaウェブサイト

[sony.co.jp/felica/](https://sony.co.jp/felica/)

カタログ記載内容 : 2025年7月

J2013-03-05